

事業計画書及び収支見積書(破砕業者用)

平成21年7月1日現在作成

1-1. 事業の全体計画(業務を行う時間、従業員数、休業日、扱う車種を含む。)

解体業者から解体自動車を取り取り、シュレッディングマシンで破砕後、 鉄、非鉄、ASRに分別する。 一部解体自動車をプレスして鉄スクラップ原料とする。分別・処理した物品の 扱いは次のとおり。 鉄……電炉メーカーに売却 輸出業者に売却 非鉄金属……非鉄金属商社に売却 ASR……自動車メーカー等の指定する引取場所に引渡し						
業務時間	8:30 ~ 17:00	従業員数	20	人	休業日	日曜・祝日

1-2. 解体自動車等の引取実績及び計画

年 度	18年度実績 (3年前)	19年度実績 (2年前)	20年度実績 (1年前)	許可更新後の 年間計画
引取台数	20,000 台	22,000 台	24,000 台	25,000 台
主な引取先	解体業者等	解体業者等	解体業者等	解体業者等

1-3. 破砕または破砕前処理実績

年 度	18年度実績 (3年前)	19年度実績 (2年前)	20年度実績 (1年前)
年間処理実績	20,000 台	22,000 台	22,000 台
年間稼働日数	280 日	280 日	280 日
平均処理実績	71 台/日	79 台/日	79 台/日

1-4. 処理能力

1日当処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
100 台/日	280 日	28,000 台

1-5. 保管の状況

解体自動車		ASR	
保管量の上限	1,200 台	保管量の上限	22,000 m ³
現在保管量	1,000 台	現在保管量	7,000 m ³

1 - 6 . 年間収支見積書

平成21年7月1日現在作成

項 目		前年度(20年) (決算月(3月))		今年度の見込み (年間)	
		年度 (千円)	(1台当) (円)	年度 (千円)	(1台当) (円)
売上高(全体)	ア(総売上収入)	276,000	12,000	524,000	20,000
売上原価	イ(解体自動車等購入費)	-120,000	-5,000	75,000	3,000
経費	ウ	269,100	11,700	235,800	9,000
	うち廃棄物処理委託費				
	エ	92,000	4,000	26,200	1,000
営業利益	オ = ア - イ - ウ	126,900	5,517	213,200	8,137
営業外損益	カ(主に支払利息(注))	-3,000	-130	-3,000	-115
経常利益	キ = オ + カ	123,900	5,387	210,200	8,023
解体自動車等年間引取台数		24,000		25,000	
解体自動車等年間処理台数		23,000		26,200	

(参考)

	前年度末	現在
負債総額(年度末残高) (千円)	100,000	100,000

- (注) 1 「1台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。
 2 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合は、マイナスで計上すること。
 3 前年度の決算書の写しを提出する場合は、この「1 - 6 . 年間収支見積書」の記載を省略することができる。